

## フランス語学フランス文学専攻分野科目

授業科目	講義題目	単位	担当教員氏名	曜日・講時	平成30年度以前入学者 読替先授業科目
フランス文学特論Ⅲ	文学をめぐる理論と常識(3)	2	今井 勉	前期 火曜日 2講時	
フランス文学特論Ⅳ	文学をめぐる理論と常識(4)	2	今井 勉	後期 火曜日 2講時	
フランス文化学特論Ⅰ	Annie Ernaux, Une femme	2	MEVEL YANN ERIC	前期 水曜日 4講時	
フランス語学研究演習Ⅰ	フランス語学の現代的トピックⅠ	2	阿部 宏	前期 水曜日 5講時	
フランス語学研究演習Ⅱ	フランス語学の現代的トピックⅡ	2	阿部 宏	後期 水曜日 5講時	
フランス語学研究演習Ⅲ	Annie Ernaux, La Place	2	MEVEL YANN ERIC	前期 月曜日 5講時	
フランス語学研究演習Ⅳ	Pierre Michon	2	MEVEL YANN ERIC	後期 月曜日 5講時	
フランス文学研究演習Ⅱ	近現代仏文学研究(2)	2	今井 勉	前期 水曜日 2講時	
フランス文学研究演習Ⅲ	フランス語史の諸トピック	2	黒岩 卓	前期 月曜日 3講時	
フランス文学研究演習Ⅳ	フランス語史の諸トピック	2	黒岩 卓	後期 月曜日 3講時	

科目名：フランス文学特論Ⅲ／ French Literature(Advanced Lecture)Ⅲ

曜日・講時：前期 火曜日 2講時

セメスター：1学期 単位数：2

担当教員：今井 勉

コード：LM12207, 科目ナンバリング：LGH-LIT612J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：文学をめぐる理論と常識（3）
2. Course Title (授業題目)：Theory and common sense（3）
3. 授業の目的と概要：この授業では、フランス文学研究におけるさまざまな方法論を学びながら、実際の論文（レポート、研究ノート、学会誌投稿論文、修士論文や博士論文などの学位論文）を構想・執筆するに当たって最も重要となる問題設定の仕方と論理展開の方法について、実例をもとに実践的に考え、実習を通して執筆訓練を行います。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：This course offers an opportunity to deepen understanding diversity in the research and to develop the abilities necessary in academic writing.
5. 学習の到達目標：論文の構想と執筆について具体的かつ実践的な見通しを持つことができるようになる。
6. Learning Goals(学修の到達目標)：The purpose of this course is to help students have a concrete and practical perspective of writing articles.
7. 授業の内容・方法と進度予定：  
(以下、授業の進度については変更される場合があることをあらかじめご了承ください。)  
第1回 導入  
第2回 修士論文の構想（1）  
第3回 修士論文の構想（2）  
第4回 修士論文の構想（3）  
第5回 修士論文の構想（4）  
第6回 修士論文の構想（5）  
第7回 修士論文の構想（6）  
第8回 修士論文の構想（7）  
第9回 修士論文の執筆アドバイス（1）  
第10回 修士論文の執筆アドバイス（2）  
第11回 修士論文の執筆アドバイス（3）  
第12回 修士論文の執筆アドバイス（4）  
第13回 修士論文の執筆アドバイス（5）  
第14回 修士論文の執筆アドバイス（6）  
第15回 修士論文の執筆アドバイス（7）
8. 成績評価方法：  
準備をしたうえでの授業への参加状況 100%
9. 教科書および参考書：  
随時、プリントを配付します。
10. 授業時間外学習：毎回、十分な準備をして臨むこと。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness  
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness  
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：

科目名：フランス文学特論IV／ French Literature(Advanced Lecture)IV

曜日・講時：後期 火曜日 2講時

セメスター：2学期 単位数：2

担当教員：今井 勉

コード：LM22205, 科目ナンバリング：LGH-LIT613J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：文学をめぐる理論と常識（4）
2. Course Title (授業題目)：Theory and common sense（4）
3. 授業の目的と概要：この授業では、フランス文学研究におけるさまざまな方法論を学びながら、実際の論文（レポート、研究ノート、学会誌投稿論文、修士論文や博士論文などの学位論文）を構想・執筆するに当たって最も重要となる問題設定の仕方と論理展開の方法について、実例をもとに実践的に考え、実習を通して執筆訓練を行います。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：This course offers an opportunity to deepen understanding diversity in the research and to develop the abilities necessary in academic writing.
5. 学習の到達目標：論文の構想と執筆について具体的かつ実践的な見通しを持つことができるようになる。
6. Learning Goals(学修の到達目標)：The purpose of this course is to help students have a concrete and practical perspective of writing articles.
7. 授業の内容・方法と進度予定：  
(以下、授業の進度については変更される場合があることをあらかじめご了承ください。)  
第1回 導入  
第2回 修士論文の構想（1）  
第3回 修士論文の構想（2）  
第4回 修士論文の構想（3）  
第5回 修士論文の構想（4）  
第6回 修士論文の構想（5）  
第7回 修士論文の構想（6）  
第8回 修士論文の構想（7）  
第9回 修士論文の執筆アドバイス（1）  
第10回 修士論文の執筆アドバイス（2）  
第11回 修士論文の執筆アドバイス（3）  
第12回 修士論文の執筆アドバイス（4）  
第13回 修士論文の執筆アドバイス（5）  
第14回 修士論文の執筆アドバイス（6）  
第15回 修士論文の執筆アドバイス（7）
8. 成績評価方法：  
準備をしたうえでの授業への参加状況 100%
9. 教科書および参考書：  
随時、プリントを配付します。
10. 授業時間外学習：毎回、十分な準備をして臨むこと。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness  
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness  
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：

科目名：フランス文化学特論 I / French Culture (Advanced Lecture) I

曜日・講時：前期 水曜日 4 講時

セメスター：1 学期 単位数：2

担当教員：MEVEL YANN ERIC

コード：LM13407, 科目ナンバリング：LGH-LIT614F, 使用言語：英語以外の外国語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：Annie Ernaux, Une femme
2. Course Title (授業題目)：Annie Ernaux, Une femme
3. 授業の目的と概要：- apprentissage du mode d'analyse d'une œuvre complète  
- approches thématiques, poétiques et stylistiques d'une œuvre narrative  
- pratique de l'explication de textes littéraires  
- pratique de l'argumentation  
- analyse de documents
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：- apprentissage du mode d'analyse d'une œuvre complète  
- approches thématiques, poétiques et stylistiques d'une œuvre narrative  
- pratique de l'explication de textes littéraires  
- pratique de l'argumentation  
- analyse de documents
5. 学習の到達目標：- analyse d'une œuvre qui estompe les frontières génériques entre journal, biographie et autobiographie  
- analyse des points de rencontre entre littérature, Histoire et sociologie  
- analyse de la notion d'《écriture plate》
6. Learning Goals (学修の到達目標)：- analyse d'une œuvre qui estompe les frontières génériques entre journal, biographie et autobiographie  
- analyse des points de rencontre entre littérature, Histoire et sociologie  
- analyse de la notion d'《écriture plate》
7. 授業の内容・方法と進度予定：
  - 1) Introduction
  - 2) Introduction
  - 3) Explication de texte
  - 4) Explication de texte
  - 5) Explication de texte
  - 6) Explication de texte
  - 7) Explication de texte
  - 8) Explication de texte
  - 9) Explication de texte
  - 10) Explication de texte
  - 11) Explication de texte
  - 12) Explication de texte
  - 13) Explication de texte
  - 14) Explication de texte
  - 15) Explication de texte
  - 16) Travaux d'étudiants
8. 成績評価方法：

L'évaluation prendra d'abord la forme d'un contrôle continu, qui demande une participation active aux cours. Celui-ci comptera pour 50 % dans l'évaluation globale. A la fin du semestre, il s'agira de présenter un exposé ou une explication de texte (25 %) et, par écrit, un bref compte rendu (25 %)
9. 教科書および参考書：

Annie Ernaux, Une femme, Paris, La bibliothèque Gallimard (dossier de Pierre-Louis Fort)
10. 授業時間外学習：Pour toute explication de texte, il faudra avant le cours effectuer les recherches utiles (vocabulaire, grammaire, références...), en s'interrogeant sur les fonctions et effets de ce texte.
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness  
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness  
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：

科目名：フランス語学研究演習 I / French Linguistics (Advanced Seminar) I

曜日・講時：前期 水曜日 5 講時

セメスター：1 学期 単位数：2

担当教員：阿部 宏

コード：LM13502, 科目ナンバリング：LGH-LIT631J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：フランス語学の現代的トピック I
2. Course Title (授業題目)：Questions contemporaines de langue française (1)
3. 授業の目的と概要： フランス語に関する論文を読みながら、フランス語学・一般言語学・言語学史・対照言語研究の基礎概念を紹介・解説し、フランス語の諸現象について考える。また、日本語、英語との対照的考察を行う。
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：En lisant des articles sur le français, on expliquera les concepts de base de la linguistique française, de la linguistique générale, de l'histoire de la linguistique et de la linguistique contrastive, et on mettra en relief des caractéristiques du français. On traitera également des études contrastives avec le japonais et l'anglais.
5. 学習の到達目標：・フランス語学・一般言語学・仏英日対照言語学の基礎が理解できる。
  - ・フランス語学の研究史が把握できる。
  - ・語学研究の方法論が理解できる。
  - ・言語に潜在する主観性概念への関心が高まる。
6. Learning Goals (学修の到達目標)：\* Comprendre les méthodologies élémentaires de la linguistique française, de la linguistique générale, de la linguistique contrastive franco-anglaise.
  - \* Comprendre l'histoire de la linguistique française
  - \* Comprendre la méthodologie de la recherche linguistique.
  - \* Comprendre le concept de subjectivité dans le langage.
7. 授業の内容・方法と進捗予定：
  1. ガイダンス
  2. フランス語学関連文献読解 (1)
  3. フランス語学関連文献読解 (2)
  4. フランス語学関連文献読解 (3)
  5. フランス語学関連文献読解 (4)
  6. 一般言語学関連文献読解 (1)
  7. 一般言語学関連文献読解 (2)
  8. 一般言語学関連文献読解 (3)
  9. 一般言語学関連文献読解 (4)
  10. 言語学史関連文献読解 (1)
  11. 言語学史関連文献読解 (2)
  12. 言語学史関連文献読解 (3)
  13. 対照言語学関連文献読解 (1)
  14. 対照言語学関連文献読解 (2)
  15. まとめと筆記試験
8. 成績評価方法：

平常点 40%, 筆記試験 60%
9. 教科書および参考書：

プリント使用。

参考書：阿部宏『言葉に心の声を聞く』(2015) 東北大学出版会。

他に、関連図書について、適宜推薦します。
10. 授業時間外学習：教室で適宜テーマを与えますので、関連資料を調査し、各自考えていただきます
11. 実務・実践的授業/Practical business
  - ※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business
  - 《実務・実践的授業/Practical business》
12. その他：

科目名：フランス語学研究演習Ⅱ／ French Linguistics(Advanced Seminar)Ⅱ

曜日・講時：後期 水曜日 5講時

セメスター：2学期 単位数：2

担当教員：阿部 宏

コード：LM23501, 科目ナンバリング：LGH-LIT632J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：フランス語学の現代的トピック II
2. Course Title (授業題目)：Questions contemporaines de langue française II
3. 授業の目的と概要： フランス語に関する論文を読みながら、フランス語学・一般言語学・言語学史・対照言語研究の基礎概念を紹介・解説し、フランス語の諸現象について考える。また、日本語、英語との対照的考察を行う。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：En lisant des articles sur le français, on expliquera les concepts de base de la linguistique française, de la linguistique générale, de l'histoire de la linguistique et de la linguistique contrastive, et on mettra en relief des caractéristiques du français. On traitera également des études contrastives avec le japonais et l'anglais.
5. 学習の到達目標：・フランス語学・一般言語学・仏英日対照言語学の基礎が理解できる。
  - ・フランス語学の研究史が把握できる。
  - ・語学研究の方法論が理解できる。
  - ・言語に潜在する主観性概念への関心が高まる。
6. Learning Goals(学修の到達目標)：\* Comprendre les méthodologies élémentaires de la linguistique française, de la linguistique générale, de la linguistique contrastive franco-anglaise.
  - \* Comprendre l'histoire de la linguistique française
  - \* Comprendre la méthodologie de la recherche linguistique.
  - \* Comprendre le concept de subjectivité dans le langage.
7. 授業の内容・方法と進捗予定：
  1. ガイダンス
  2. フランス語学関連文献読解 (1)
  3. フランス語学関連文献読解 (2)
  4. フランス語学関連文献読解 (3)
  5. フランス語学関連文献読解 (4)
  6. 一般言語学関連文献読解 (1)
  7. 一般言語学関連文献読解 (2)
  8. 一般言語学関連文献読解 (3)
  9. 一般言語学関連文献読解 (4)
  10. 言語学史関連文献読解 (1)
  11. 言語学史関連文献読解 (2)
  12. 言語学史関連文献読解 (3)
  13. 対照言語学関連文献読解 (1)
  14. 対照言語学関連文献読解 (2)
  15. まとめと筆記試験
8. 成績評価方法：

平常点 40%, 筆記試験 60%
9. 教科書および参考書：

プリント使用。

参考書：阿部宏『言葉に心の声を聞く』(2015) 東北大学出版会。

他に、関連図書について、適宜推薦します。
10. 授業時間外学習：教室で適宜テーマを与えますので、関連資料を調査し、各自考えていただきます
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
  - ※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business
  - 《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：

科目名：フランス語学研究演習Ⅲ／ French Linguistics(Advanced Seminar)Ⅲ

曜日・講時：前期 月曜日 5講時

Semester：1学期 単位数：2

担当教員：MEVEL YANN ERIC

コード：LM11502, 科目ナンバリング：LGH-LIT633F, 使用言語：英語以外の外国語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：Annie Ernaux, La Place
2. Course Title (授業題目)：Annie Ernaux, La Place
3. 授業の目的と概要：- apprentissage du mode d'analyse d'une œuvre complète  
- approches thématiques, poétiques et stylistiques d'une œuvre narrative  
- pratique de l'explication de textes littéraires  
- pratique de l'argumentation  
- analyse de documents
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：- apprentissage du mode d'analyse d'une œuvre complète  
- approches thématiques, poétiques et stylistiques d'une œuvre narrative  
- pratique de l'explication de textes littéraires  
- pratique de l'argumentation  
- analyse de documents
5. 学習の到達目標：- analyse d'une œuvre qui estompe les frontières génériques entre journal, biographie et autobiographie  
- analyse des points de rencontre entre littérature, Histoire et sociologie  
- analyse de la notion d'« écriture plate »
6. Learning Goals(学修の到達目標)：- analyse d'une œuvre qui estompe les frontières génériques entre journal, biographie et autobiographie  
- analyse des points de rencontre entre littérature, Histoire et sociologie  
- analyse de la notion d'« écriture plate »
7. 授業の内容・方法と進度予定：
  - 1) Introduction
  - 2) Introduction
  - 3) Explication de texte
  - 4) Explication de texte
  - 5) Explication de texte
  - 6) Explication de texte
  - 7) Explication de texte
  - 8) Explication de texte
  - 9) Explication de texte
  - 10) Explication de texte
  - 11) Explication de texte
  - 12) Explication de texte
  - 13) Explication de texte
  - 14) Explication de texte
  - 15) Explication de texte
  - 16) Travaux d'étudiants
8. 成績評価方法：

L'évaluation prendra d'abord la forme d'un contrôle continu, qui demande une participation active aux cours. Celui-ci comptera pour 50 % dans l'évaluation globale. A la fin du semestre, il s'agira de présenter un exposé ou une explication de texte (25 %) et, par écrit, un bref compte rendu (25 %)
9. 教科書および参考書：

Annie Ernaux, La Place, Belin-Gallimard (dossier de Kim-Lan Appéré)
10. 授業時間外学習：Pour toute explication de texte, il faudra avant le cours effectuer les recherches utiles (vocabulaire, grammaire, références...), en s'interrogeant sur les fonctions et effets de ce texte.
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness  
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practical business  
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：

科目名：フランス語学研究演習Ⅳ／ French Linguistics(Advanced Seminar)Ⅳ

曜日・講時：後期 月曜日 5講時

セメスター：2学期 単位数：2

担当教員：MEVEL YANN ERIC

コード：LM21503, 科目ナンバリング：LGH-LIT634F, 使用言語：英語以外の外国語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：Pierre Michon
2. Course Title (授業題目)：Pierre Michon
3. 授業の目的と概要：Les principaux objectifs du cours sont les suivants :
  - apprentissage du mode d'analyse d'une œuvre complète
  - approfondissement de la méthode de l'explication de texte
  - analyse d'une prose poétique et lyrique
  - réflexion d'ordre générique, notamment sur la notion de « fiction biographique »
  - analyse d'une œuvre littéraire qui se confronte au savoir et à la peinture, donne lieu à une réflexion sur l'art
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：Les principaux objectifs du cours sont les suivants :
  - apprentissage du mode d'analyse d'une œuvre complète
  - approfondissement de la méthode de l'explication de texte
  - analyse d'une prose poétique et lyrique
  - réflexion d'ordre générique, notamment sur la notion de « fiction biographique »
  - analyse d'une œuvre littéraire qui se confronte au savoir et à la peinture, donne lieu à une réflexion sur l'art
5. 学習の到達目標：- pratique de l'explication de texte
  - analyse de documents relatifs à la notion de « fiction biographique »
6. Learning Goals (学修の到達目標)：- pratique de l'explication de texte
  - analyse de documents relatifs à la notion de « fiction biographique »
7. 授業の内容・方法と進度予定：
  - 1) Introduction
  - 2) Introduction
  - 3) Explication de texte
  - 4) Explication de texte
  - 5) Explication de texte
  - 6) Explication de texte
  - 7) Explication de texte
  - 8) Explication de texte
  - 9) Explication de texte
  - 10) Explication de texte
  - 11) Explication de texte
  - 12) Explication de texte
  - 13) Explication de texte
  - 14) Explication de texte
  - 15) Conclusion
  - 16) Travaux d'étudiants
8. 成績評価方法：

L'évaluation prendra d'abord la forme d'un contrôle continu (participation aux cours). Il comptera pour 50 % dans l'évaluation globale. A la fin du second semestre, il s'agira de présenter un exposé sur l'œuvre étudiée (25 %) et, par écrit, un bref compte rendu critique (25 %).
9. 教科書および参考書：

Vie de Joseph Roulin, Editions Verdier (Paris).
10. 授業時間外学習：Pour toute explication de texte il faudra avant le cours effectuer les recherches utiles (vocabulaire, grammaire, références…), en s'interrogeant sur les fonctions et effets de ce texte.
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness
  - ※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness
  - 《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：

科目名：フランス文学研究演習Ⅱ／ French Literature(Advanced Seminar)Ⅱ

曜日・講時：前期 水曜日 2講時

セメスター：1学期 単位数：2

担当教員：今井 勉

コード：LM13206, 科目ナンバリング：LGH-LIT635J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：近現代仏文学研究 (2)

2. Course Title (授業題目) : Study on modern literature (2)

3. 授業の目的と概要：近現代フランス文学の作家のテキストを主な題材として、文学と芸術（特に絵画）との関わりについて考察します。この授業では、小説家ジャン＝マリー・ルアール（1943～）の自伝的小説『光の影の青春』（邦訳なし）を読んでいます。テキスト読解の傍ら、折に触れて、ジャン＝マリー・ルアール著『印象派のなかの一家族』（ガリマール社、2016年〔初版2001年〕）、ダヴィド・アジオ著『ルアール家の人々（1850-2000）』（ファイヤール社、2012年）を参照します。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要) : This course offers an opportunity to deepen understanding of the relations between literature and arts in french culture through the intensive reading of modern literary texts.

5. 学習の到達目標：近代フランス文化史の理解を深める。

6. Learning Goals(学修の到達目標) : The purpose of this course is to help students better understand french historical culture in modern age.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

(授業の進度については変更される場合があることをあらかじめご了承ください。)

この授業は、2021年度後期の内容と予定を再度取り上げます。

第1回 第2部のふりかえり

第2回 La nuit d'Ibiza

第3回 Les fleurs vénéneuses du sexe

第4回 Le Mesnil au temps du H

第5回 Les archétypes de l'amitié

第6回 Destins de femmes

第7回 La découverte du monde réel

第8回 Le château du démoniaque

第9回 L'éclipse de Florence

第10回 Le bonheur dans le malheur

第11回 L'empire de la destruction

第12回 Rendu à soi-même

第13回 Finir dans le désert

第14回 Le phare de La Mola

第15回 第3部のふりかえり

8. 成績評価方法：

課題レポート100%

9. 教科書および参考書：

Jean-Marie Rouart, Une jeunesse à l'ombre de la lumière, Gallimard, 2000 ; Jean-Marie Rouart, Une famille dans l'impressionnisme, Gallimard, 2016 ; David Haziot, Le roman des Rouart (1850-2000), Fayard, 2012.

10. 授業時間外学習：毎回、十分な予習が必要となります。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：

連絡先：tsutomu.imai.a4@tohoku.ac.jp

科目名：フランス文学研究演習Ⅲ／ French Literature(Advanced Seminar)Ⅲ

曜日・講時：前期 月曜日 3講時

セメスター：1学期 単位数：2

担当教員：黒岩 卓

コード：LM11306, 科目ナンバリング：LGH-LIT636J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：フランス語史の諸トピック
2. Course Title (授業題目)：History of the French language
3. 授業の目的と概要：ラテン語から今日の世界各地のフランス語にいたるまでの、フランス語史に関するさまざまなトピックを学びます。具体的な内容については初回に受講者の皆さんと相談しますが、令和5年度についてはラテン語の初・中級テキストあるいはアフリカにおけるフランス語についての論文のいずれかを読みたいと考えています。
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：The participants learn about the history of the French language, from Latin to French in today's world.
5. 学習の到達目標：フランス語の歴史についての知識を深め、受講者それぞれの研究テーマにそれを役立たせられるようになる。
6. Learning Goals (学修の到達目標)：Each learner confirms their knowledge of French history and applies it to their research.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
  - 第一回 オリエンテーション
  - 第二回 フランス語史の諸トピック (1)
  - 第三回 フランス語史の諸トピック (2)
  - 第四回 フランス語史の諸トピック (3)
  - 第五回 フランス語史の諸トピック (4)
  - 第六回 フランス語史の諸トピック (5)
  - 第七回 フランス語史の諸トピック (6)
  - 第八回 フランス語史の諸トピック (7)
  - 第九回 フランス語史の諸トピック (8)
  - 第十回 フランス語史の諸トピック (9)
  - 第十一回 フランス語史の諸トピック (10)
  - 第十二回 フランス語史の諸トピック (11)
  - 第十三回 フランス語史の諸トピック (12)
  - 第十四回 フランス語史の諸トピック (13)
  - 第十五回 フランス語史の諸トピック (14)

(以上の進度は目安で、実際には変更があり得ます)
8. 成績評価方法：

出席(100%)
9. 教科書および参考書：

初回のオリエンテーションでの議論を踏まえて決定します。
10. 授業時間外学習：初回のオリエンテーションでの議論を踏まえて指示します。
11. 実務・実践的授業/Practical business  
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business  
《実務・実践的授業/Practical business》
12. その他：

科目名：フランス文学研究演習Ⅳ／ French Literature(Advanced Seminar)Ⅳ

曜日・講時：後期 月曜日 3講時

セメスター：2学期 単位数：2

担当教員：黒岩 卓

コード：LM21305, 科目ナンバリング：LGH-LIT637J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：フランス語史の諸トピック
2. Course Title (授業題目)：History of the French language
3. 授業の目的と概要：ラテン語から今日の世界各地のフランス語にいたるまでの、フランス語史に関するさまざまなトピックを学びます。具体的な内容については初回に受講者の皆さんと相談しますが、令和5年度についてはラテン語の初・中級テキストあるいはアフリカにおけるフランス語についての論文のいずれかを読みたいと考えています。
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：The participants learn about the history of the French language, from Latin to French in today's world.
5. 学習の到達目標：フランス語の歴史についての知識を深め、受講者それぞれの研究テーマにそれを役立たせられるようになる。
6. Learning Goals (学修の到達目標)：Each learner confirms their knowledge of French history and applies it to their research.
7. 授業の内容・方法と進度予定：
  - 第一回 オリエンテーション
  - 第二回 フランス語史の諸トピック (15)
  - 第三回 フランス語史の諸トピック (16)
  - 第四回 フランス語史の諸トピック (17)
  - 第五回 フランス語史の諸トピック (18)
  - 第六回 フランス語史の諸トピック (19)
  - 第七回 フランス語史の諸トピック (20)
  - 第八回 フランス語史の諸トピック (21)
  - 第九回 フランス語史の諸トピック (22)
  - 第十回 フランス語史の諸トピック (23)
  - 第十一回 フランス語史の諸トピック (24)
  - 第十二回 フランス語史の諸トピック (25)
  - 第十三回 フランス語史の諸トピック (26)
  - 第十四回 フランス語史の諸トピック (27)
  - 第十五回 フランス語史の諸トピック (28)

(以上の進度は目安で、実際には変更があり得ます)
8. 成績評価方法：

出席(100%)
9. 教科書および参考書：

初回のオリエンテーションでの議論を踏まえて決定します。
10. 授業時間外学習：初回のオリエンテーションでの議論を踏まえて指示します。
11. 実務・実践的授業/Practical business  
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business  
《実務・実践的授業/Practical business》
12. その他：